

世代別・職業別タウンミーティング（湊町地区商店街）（要約）

テーマ：まちなかの賑わいづくりと次代を担う人づくり
中心市街地の活性化

平成28年2月17日（水曜日）

【市長】 皆さん、こんにちは。今日はこの地区でのタウンミーティングを開催するにあたりまして、水曜日ということで、お店がお休みの方もいらっしゃるって、何かとご予定もあったのではないかと思います。各商店街の役員の皆様には、ご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。このタウンミーティングですが、私が就任してから始めさせていただいています。松山市というのは旧の中島町、旧の北条市を合わせて41地区に分かれます。市長の任期は1期4年48カ月ですので、最初は1カ月に1回のペースで回っていかうと考えていました。このタウンミーティングは1時間半台本なし、その地区に関わることでしたらどんな質問をしていただいてもかまいません。魅力は伸ばす、課題は減らす。できることから市政に反映する松山市版のタウンミーティングを重ねてまいりました。おかげさまで好評になりまして、一気に前倒しをしようということで、1期目4年の中で41地区を2巡りさせていただきました。今日もそうですが、できるだけこの場でお答えをして帰ります。中には国と関係をする案件、県と関係をする案件、財政的なことなどしっかりと考えないといけない案件もありますので、すぐにお答えできないものはいったん持ち帰らせていただいて1カ月を目処に必ず返事をします。文書で、皆様のところにお返しするという、やりっぱなしにしない聞きっぱなしにしないタウンミーティングでございます。2期目に入らせていただいて、この地区別のタウンミーティングはずっと継続していますが、新たに世代別のタウンミーティングをしよう。また、職業別のタウンミーティング、今回は商店街の皆様とのタウンミーティングということで、銀天街の皆様方、まつちかの皆様方、そして市駅前商店街の皆様方とタウンミーティングを開催させていただきます。ご存知のように、私は前の仕事でこの商店街を何度となく訪ねさせていただいています。ですから、お知り合いの方も数多くいらっしゃるって、色んなお話も伺っています。また、自分自身が子どものころから、「おまち」に行くといつてこの商店街に来ていましたので、昔から想いのあるところでございます。今日は皆様方と有意義な意見交換ができればと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【司会】 それでは、テーマ趣旨について市長からご説明いたします。

【市長】 今日のテーマでございますが、こちらのよう「まちなかの賑わいづくりと次代を担う人づくり」、そして「中心市街地の活性化」となっています。私たちはこの中心商店街を非常に重要な位置づけと考えていますので、今回職業別のタウンミーティングをこのようなテーマでさせていただきました。松山の特徴は、中心市街地が松山城の麓にあり、商店街、デパート、ホテルなどの施設がコンパクトに集まった市であることです。そして、全国の市・区・町・村、全国には1,718市区町村があり、その中で路面電車が通っているまちはわずか17しかありません。つまり、100分の1の割合でしか走っていない路面電車が走っている。そして、その中心市街地と郊外を結ぶ郊外電車が3路線残っている、JRも走っている、バスの路線も充実しているというのが松山市の特徴でございます。皆さんご存知のように、昨年8月には大街道のラフォーレ原宿・松山の跡地に「アエル松山」がオープンいたしました。松山市では、この中心市街地に9つの調査ポイントがありますが、いずれも通行量がアップしています。この銀天街のL字地区の再開発については、市民の皆さんや地元団体のほか、さまざまな関係者で検討組織が結成され、まちの魅力と賑わいの創出に向けた機運が以前より高まっていると伺っています。そして、まちづくりを担う人材の育成も重要と考えています。商店街でもまちづくりを担う人材が必要になってくると思っています。そういったことから、今日は将来をしっかりと見据えまして、大きく2つ、「行政と協力して内容を充実させたい」とか「ここは行政の力がほしい」といった話などをお聞かせいただきながら、この2つのテーマについて話し合っていきたい、意見交換をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 松山銀天街商店街振興組合です。よろしく申し上げます。次代を担う人づくりということですが、特に若者に限った話ではないと理解しています。つまり、次代を考えながら次代に責任を持って実行できる人づくり、まちづくりであろうという理解です。そういう意味では、この番町地区、八坂、東雲というかたちでよくお城下地区と言われます。後にあります中心市街地ということだと、中心市街地活性化協議会の中には道後もJRのところも含めて中心市街地であるということ、松山市は国に対してもあげているところで、こちらの賑わいづくりであるとかまちづくりということであれば、考えなければならないのは昼間と夜間の人口が違うということだと私は思っています。例えば、ここに住んでいる方の人口

ということですので、実は相当に減っています。何十年前の話をするとなん万人といたのが今は何千人、番町地区にいたっては3千人程度の規模であるということ、それだけを見ると、ここの意見は3～4千人のことを聞かれるのかということになっているかもしれませんが、実際はそうではないと言いたいのが夜間人口と昼間人口の話です。四国の中の松山、愛媛の中の松山である商業都市松山のシンボリックな場所が、特にここ湊町であると思います。先月、NHKの「ブラタモリ」でもご紹介をいただきました。大街道ではなく、湊町の銀天街商店街が出てきています。色んな意味で、歴史的にも今も通行量が一番多い場所ですから、中央商店街の中でもメインの場所であるこの銀天街というところから発信させていただきますが、この中で一番大事なのは、若い人であれ、次代を担う人に対して頑張れるような人たち、例えば、特区という人たちで位置づけて、人・物・金が集まる、特に高い流動性が生まれるような新しいことをできる場所にするべきだということが、まず端的に言える結論です。先ほど言いましたように昼間・夜間ということも含めて意外に見えない方が水面下で頑張っています。四国中もしくは愛媛中からここに人が集まってきていて、アイデアや実行力がここで生まれ育っています。ここにいかにブーストをかけてあげるかということが、これからの市政にとっても、このまちなかの賑わいづくりと次代を担う人づくりに非常に大事なことだと思っています。

【市長】 皆さんご存知の方も多いと思いますが、特区というのは、いわゆる特別なエリアということで、普通だったらこういう規制がかかるけれども特別に外しましょう、というエリアを特区と言います。具体的にこういうことがしたいんやけど、こういう特区で動いてくれないかみたいなどころはありますか。

【男性】 規制を外すという意味ではそこまで考えていなかったんですが、今までも、若い人やまちなかの方が切望する中でありましたのが、千舟町のホコ天化計画です。これは規制を外してくれという話でもあると思います。具体的にはどういう規制を外すというよりは、私はどちらかというところプラスの発想だったんですね。これからどういうかたちで地方分権が進むかはわかりませんが、色んな産業がここで生まれていき、例えば、小売だけではなくて、ものづくりと小売がどんどん進んでいくようなかたちです。これらがどんどん出ていくような特区になればいいかなと思っています。特区という単語を使うのが正しいかわかりませんが、今の松山市の商業の状況でいきますと、小売商業の売場面積効率は、平成3年よりかなり下がっている状況でございまして、中心部の商業化面積が非常に下がっています。松山市全体では、横ばい、もしくは増加の一途であると。ただ、全体

の小売商業販売額は、横ばいもしくは減少の傾向にあると。これらを加味してグラフ化しますと、中心部の効率のほうがいまだにいいんですけれども、全体としたら松山市全体も下がっているし、郊外部は当然下がっていると。こういうように規制をかけるのも特に難しいと思いますし、特区という意味ではどうかたちなのか、逆に言うと外の規制を外したからこうなったんじゃないかということになると思うんですけれども、どんどん商業化面積が広がった代わりに効率が悪い都市になってしまっています。野志市長がこの前の市長選を受かれたときの晩に南海放送でお話をされていて、この中心市街地はまだ空き店舗はありませんよとおっしゃっていたと思うんですけれども、実はあれからどんどん空き店舗が増えまして、通行量は上がっているのに空き店舗は増えている状況なんですね。ですから、私も申し上げません。拙い知識なのでこれ以上は具体的なことは今すぐは出てこないんですけれども、これをどうにか打破もしくは新しい商店街のかたちを生み出すようなことができないかという意味でお話をしています。よろしいでしょうか。

【地域経済課長】 地域経済課の中島と申します。お世話になります。昼間人口という点で触れたいと思います。今、企業誘致という仕事をさせてもらっていますが、松山にIT関連企業、代表的なものはコールセンターなどが多いんですけれども、そういう業種はかなりパートの方というケースが多い状況です。そういう職を求めている市民の方、特に女性の方が多いものですから非常にニーズもございます。松山に誘致をという話を持っていきますと、そういう企業さんも松山は非常に住みやすいとか災害が少ないとか評価をいただきますが、いざ来ようとしたときに、なかなか企業が入るようなオフィスが足りないということがあります。そういう意味で、今後はL字地区の開発も進んでいくと期待もしていますが、オフィスビルやオフィスのフロアなどをできれば我々も一緒に充実させていって、そこに雇用創出機能もしっかりつくっていきたいと思います。それによって昼間に働く人がそこに来ますので、昼の時間であったり夕方の方の時間であったり、そこを歩行するあるいは回遊されるという市民の方がかなり増えることも想定されます。産業経済部としては、ぜひそういうところをやりたいなと考えているところでございます。

【市長】 また、今日の1時間半の中で再度ご発言いただくこともあると思いますので、遠慮なく言ってください。

【男性】 市駅前商店街です。今、思いついたことですが、人口が流出しているとか減っているとかあると思うんですけど、何かのデータで見たん

ですが、中心地に人口を5%増やせばこのまちなかはすごく潤うんだという話もあります。民のマンションであったりとかも思うんですが、官として人口をどのように増やそうかと考えていらっしゃるのでしょうか。

【市長】 実は、松山の中心市街地はこうあるべきではないかというのを、今年の1月4日の松山市の新年年賀交換会で言わせていただきました。8分弱のVTRですが、これを見ていただいたら、私が市長を5年させていただいて、例えば国土交通省をはじめ国の方からいろいろお話を聞かせていただいて、他都市の状況も見させていただいて、いろいろ松山市の特徴を捉えた中で、こういうかたちが中心商店街はいいんじゃないかなというのを、今年の1月4日の新年年賀交換会で言わせていただきました。行っていないと見れないということではいけませんので、松山市役所のホームページの中に動画チャンネルがありますので、動画チャンネルの中で、皆さんにいつでも見ていただけるように動画をアップしていますので、これを見ていただいたらと思います。私はこう考えています。もう1つだけ言うと、一市民出身でこの立場をいただいた人間なので、行政の押し付けとか一方的にやるとか上から目線でやるというのはよくないと思っています。これは嫌いです。ですから、私はこう思っているんですけども、民間の皆さんからもお知恵をいただいて一緒にまちづくりを進めていきたいという思いで言わせていただいていますので、ちょっと見ていただいてまた話をさせていただいたらと思います。よろしく願いいたします。

『動画チャンネル まつやま中心市街地2050（に一まるご一まる）ビジョン』視聴

【市長】 8分弱でしたけれども、皆さんに見ていただきました。国の方と話をさせていただいて、目を見ていたら本当のことを言っているか嘘を言っているかは大体わかりますよね。「松山はすごく可能性がありますね。」と言わせていただけます。公共交通がなかったら話は別ですが、公共交通があります。また、まちづくりを考えていく中で、当然、視力が落ちてくる、運動能力が落ちてくる、免許の返上を考えないといけない。やはり今のようなかたちが、私は松山の特徴を生かした環境に配慮した高齢化にも対応したまちづくりだと思うので、このように言わせていただきました。重ねて申し上げますが、行政だけでやるものではありません。皆さん方と一緒にまちづくりをやりたいと思っていますので、ぜひとも皆さんの思うところを言わせていただいたらと思っています。全国には中心市街地活性化に失敗したところもあるんですよ。だからこそ皆さんと一緒にしっかりとやっ

ていきたいし、松山市はすごく伸びしろが大きい可能性がある。松山でできなかつたらどこでできるんやろと思うぐらい、私はやっていきたいと思いますので、また皆様のご意見をいただけたらと思います。よろしくお願ひします。質問と答えが合っていなかつたかもしれませんが、こういうことを考えています。そのためにはこういうことが必要かなとかありますか。

【男性】 実際にまちなかに人がいないことについては昼間の人口、夜の人口ももちろんあると思いますが、まちなかに人を呼ぶために宣伝をしないといけないとか、より魅力的な店を誘致しないといけないとか、なかなか人が中心市街地に集まってくることはまれなんですね。土日は渋滞するので敬遠して郊外や県外に行ってしまうということが起こらないよう、そこに対して投資が必要になってくるんですね。そこで、住んでいただくことが私は最短の道だと思っていまして、住むところをリニューアル・リノベーションというかたちでつくっていくことになると思いますが、そこに何かハードルを感じるんです。今、感性で思っているだけで、じゃあそのハードルを越えて何か新しいことをとというと今は思いつきません。

【市長】 私どものほうから、こういうサポートができますよとか、我々はこういうことを考えていますよとか何かあれば課長からお願いします。

【都市・交通計画課長】 先ほど言われたホコ天化計画の話ですが、特区という制度ができたときに、全国で最初に警察庁の特区を取ったのが松山市です。そういう実績があつて、例えば、道路をオープンカフェにしたいとか駐輪場を道路上につくりたいとかいう規制緩和と、一方通行を逆走にするとか、そういう通行規制も警察は全員合意を取るとというのが、その協議会で決まったら全員合意じゃなくてもある程度の合意でできますよという特区を取ったことがあるんです。それが今は全国展開になって規制緩和が全国でできるようになっています。そして、まちなかに残された空間というのは道路が多いので、道路の使い方が今後プログラムを含めて大事になってくると思うので、そういう部分で道路を民間が使うことで行政も税収が増え、それを維持管理に回すみたいな話が今主流になってきているので、そういう相談をまた今後まちづくりの中でしていただいたら、こちらとしても色んな意見を出せると思いますので、よろしくお願ひいたします。

【市長】 今お話したのが都市・交通計画課の石井課長で、公共交通を生かしたまちづくりや自転車のことなどを担っているところの課長でございます。

【都市デザイン課長】 都市デザイン課長でございます。先ほどのまちなか居住につきまして、松山市では平成20年に中心市街地の活性化基本計画を策定しまして、今は2期目の計画の途中でございます。その中に安心して住み続けられる生活環境ということで、中心市街地の人口を増やしていこうという目標を掲げて各種ハード・ソフトの施策を進めています。銀天街ではないんですが、JR周辺の区画整理も人口を増やしていく公共的な施策でもあります。まちなかをという話ですけれども、都市デザインの観点から住みたい、住みやすい、居心地がいいというのをどうやってハード面から支えていくかということをいろいろ試行錯誤しながらやっています。その中で現在は、例えば銀天街であればL字地区の再開発、まち更新についていろいろと勉強会をさせていただいたり検討を進めたりしています。また、比較的緑が少ないまちなかでございますので、まちなか広場など緑を増やすことによってイベントで賑わうということもありますが、もう少し長い目で見ると緑を増やしていくと生活環境にも影響してくるかもしれません。そういった人が魅力的で住んでみたいと思われるまちなかにしないといけないと考えていまして、そういった意味では、地元の方々であるとかまちづくり会社さんであるとか商店街組合の皆さんと現在いろいろと協議をやっていまして、アーバンデザインセンターも設置させていただいて、いろいろフラットに話ができるような場所もつくっていますので、ぜひ引き続きご協力をよろしくお願いしたいと思っています。

【市長】 というのが我々からのキャッチボールですけれども、どうぞ皆さん方から何か意見がありましたら遠慮なく言っていただいたらと思います。

【男性】 私はアーバンデザインセンターで運営されている、アーバンデザインスクールというまちづくりの担い手育成の場に参加させていただいています。愛媛大学大学院に所属しています。私は湊町、千舟町地区には、日常的にはあまりいなくて、週に1回、2週間に1回ぐらいアーバンデザインスクールの機会に来ています。個人的には銀天街はすごくおしゃれなイメージがあるので、僕には似合わないまちなかという印象や、行きづらいなという気持ちはちょっとありますが、素敵なまちの雰囲気があるなと思っています。そのまちの魅力についてのお話が今あったと思うんですが、学生として、若者としての立場からの意見を言わせていただきますと、松山市は全国でも自転車の分担率が高いというデータを見たことがあります。まちなかを見ていると原付もかなり走っている台数が多いなと思います。大街道周辺だと駐輪場がある程度整備されていて、かなりの台

数が入られるようになっているかと思いますが、一利用者の立場として、湊町周辺、千舟町周辺だとなかなか自転車で行くのは不便かなと思っています。そこに関して、今後の自転車・原付、あるいは車の駐車場なども含まれるかもしれませんが、今後の整備方針と、自転車・原付の利用者がよりまちなかに行きやすいようにするためのお考えがありましたらお伺いできればと思っています。

【市長】 ありがとうございます。ざっとした受け止めで、大街道のほうは自転車・原付とか結構置けるところがあるじゃないかと。湊町界限だかどうかというようなお話ですね。

【都市・交通計画課長】 都市・交通計画課の石井です。放置駐輪対策や自転車ネットワークを所管しています。需要と供給の関係がありまして、まず駐車場については、今のところまちなかでは需要と供給は成立していて、供給量のほうが多いので、車については今の容量で、特異な日はあるかもしれないですが、日常的な平均の土日などを含めても駐車場は足りているという考えです。駐輪場については、松山市の方針として、基本民間の活力を利用してということで、大街道周辺については市の駐輪場と民間の駐輪場で需要に対し、供給が足りているので放置禁止区域にさせてもらっています。銀天街・千舟町・花園町・市駅前、特に銀天街の市駅寄りから花園町についてはおよそ1千台の放置駐輪があります。そのうち花園町については5百台の放置駐輪があったんですけど、花園通りの道路整備に合わせて道路上に百台ぐらいと道路以外のところで駐輪場を設置しているという方針でいます。今後花園町に続いて市駅前を整備することになって、今計画をつくって地元の方と協議していくことになってはいますが、その中で駐輪場については地元の方の意見も聞きながら検討していきたいと思っています。徐々にですが、整備をしていきます。もう1つは附置義務というのがございまして、要するに商業店舗や事務所を建てたときに、そこに通勤や買い物に来る人のための駐輪場を一定面積以上の面積だと何台必ずつくりなさいというのがありまして、建物が建て変わっていくたびに、おそらく今後駐輪場もできていくと思います。これは長年かかりますけれども、そういう方針でやっています。自転車のネットワークについては、花園通りは今度自転車専用レーンをつくりますから、土地が使えるところでは専用レーンをつくったりと、自転車のネットワーク化をして、まちなかに行きやすいよう計画しています。

【男性】 市駅前商店街です。いろいろありますが、まず、市駅前は伊予鉄さんの関係もありますが、夜になると真っ暗になって非常にイメージが

良くないと思います。暗いところに高速バスがやってきて、観光客がバスから降りるんですが、松山の第一印象は、多分イメージが真っ暗になるんじゃないかと思うので、あれが何とかならないかなと思います。ただ、あまり明るくしたら若者やホームレスなどもやって来て、そっちもまた問題があつて、どっちをとってもなかなか問題があります。住みやすくなったら、ホームレスがやってきてごみをあさる、これも大変難しいなと思います。あとはカラスです。これはかなりイメージが悪いと思うので、どうするかなど。今後、外国人観光客の問題がどうなるかな。英語だけでも、しゃべれないので、店の説明をするのなんか大変なのに、中国人やベトナム人やフィリピン人などが来たら、どうにも説明が難しいので、サポートしてもらえないかな。この間、テレビで見たんですけど、ベトナム人だったと思うんですが、東京かどこかの結構高級な鉄板焼き屋さんで肉を焼いて食べていたんですけど、「これはまだレアなんで、もっと焼かないかん。」と言って、自分らで勝手に焼きだして勝手に食べて、店の人が大変困っていました。ベトナム人が来ても私たちが説明できないので困るなど。

【市長】はい、わかりました。暗い、でも明るすぎてもいけない、ごみをあさるみたいなのがでましたが。

【都市・交通計画課長】 今後市駅前の整備計画を立てていく中で、花園通りも歩道照明をつくることになりました。これは皆さんに実際に見ただいてこのぐらいの明るさでどうだろうかとか、夜はちょっと絞ったほうがいいんじゃないかとか、切り替えができるようにとかですね、フルでつけることもできるし、1本おきに付けることもできるというような話になりつつあります。そういう中で、お近くの皆さんにもご意見を伺うようになるとは思いますが、事業までには時間がかかりますので、危ない状況かどうかは、後で現地を見て、即座に対応できることがあれば、それまでに対応させていただきたいと思います。

【市長】 今、基本的には、口を酸っぱくして、一方的にはやらないぞ、押し付けではやらないぞ、上から目線でやらないぞ、とよく言っているの、花園町の石畳の舗装についても住民の皆さんに見ていただいてやったんですよね。ライトも見ていただいて、皆様と協議を進めながらやらせていただいたらと思います。その明るさのこととカラスのことと、外国人対応のことですが、外国の方もお客様です。今、人口減少社会に入って、日本のことだけを考えていてもいけませんので、できる限り外国の方にも来ていただけるのであれば非常にありがたい。台湾の方は、特に日本好きですから、東京・京都・大阪に行ったことがある、次の場所を探しているん

だという方も多いので、そういったことも含めて台湾と同じ名前の空港もありますし、向こうには松山駅もありますし、松山小学校もあります。台北市は約270万人の松山市の5倍以上の人口がある台湾の首都で、東京と同じです。普通は協定を結べないんですが、そこと交流協定が結べて、台湾のお客様も平成21年には2千百人だったのが、今は3万人近く来られています。10倍以上の人が来られるようになっていきます。前置きが長くなりましたが、できるだけ外国の方にも来ていただけるように、今5カ国語表示だったですかね、英語と韓国語と中国語、中国語も2種類あるんですけれども、あとドイツ語だったかな、できるだけ外国語標記を増やしていきます。私もそんなに堪能ではないんですが、今どきですとそういうアプリができていますので情報提供させていただきます。確か21カ国語に対応してくれるアプリがあって、これも国が進めているんですが、今皆さんが頑張っただけ勉強するというのも1つの方法だと思いますけど、今の時代ですから機械を使ってできることもあると思います。無料のアプリだそうなので、そういうものを活用するやり方もあるかなと思っています。カラスは、皆さんご存知のように、夏か冬かといったら冬のほうが多いですね。冬に松山のほうに来ます。お城がねぐらなのでどうしてもこの辺りが多くなってしまいます。ご存知の方も多いと思いますが、NTTさんに言ったら、電線にぐるぐる巻きにして、電線に止まれないようにするやり方、とげとげにして電線に止まらなくするやり方ができます。NTTさんに、全部やってくださいのは難しいかもしれませんが、やってくれると聞いていますので、私どもも、もちろん仲介させていただきます。私が就任させていただいてから、いろいろとカラス対策を検討させていただいているんですが、基本的には、やはり飲食業の方がポリタンクみたいなところにきちんと入れていただいてふたをしていただくこと、そしてネットをしていただくこと、またごみ集積場所、ふたができるところもありますが、そういったところにきちっと処理をしていただくことが第一段階なのかなと思います。それだけではなかなか難しいということだったら、また次の策も考えていかないといけないなと思って常に何かできることはないだろうかと考えているところです。

【市民部長】 市民部長の唐崎と申します。担当が環境ですので、市長が先ほど申しましたこと以外の詳細につきましては、1カ月を目途にお返しします。文書での回答にさせていただきたいと思います。申し訳ございません。

【地域経済課長】 外国の方の受け入れですが、やはり外国の方は爆買いという買い方でかなり良いお客様になるという話を聞いていますし、大手

のデパートや一部の他地域の商店街でも一括免税カウンターを設けられるという取り組みもあります。松山市の商店街でもそういうことをやりたいというお声も出ていますので、また我々の支援メニューの中で対応できるものがあれば支援をさせていただきたいと思っていますのでどうぞよろしくをお願いします。

【男性】 銀天街3丁目です。中心市街地活性化ということですが、今、松山市さんのおかげでL字地区の委員会をつくっていただきました。私の町でも、最初勉強から入りまして、今年全体協議会まで発展してきまして、今後我々が頑張ってやっていきたいという中で、松山市のL字地区に対するご支援があって、地域の住民にも我々の話し合いの場に入ってもらえるようになりました。先ほど市長が言われたように、2050年を目指したときに、アーケードの維持費や修理費の問題が現実としてあります。古くなって雨漏りもしています。今の状態で50年までは絶対に持たないです。特に、湊町サイドは上に覆いがあり暗いので、それを撤去するにしてもお金がかかる。今回、湊町3丁目のほうは一応国からも予算をいただきまして、アーケードの上の塗装の塗り替えなどをしたんですが、現実的な問題はアーケード自体をどうするか、ここ1～2年ではなくて、10年、15年後を含めての今後の再開発とか、湊町3丁目には、裏通りを見てもらったら古い建物などいろいろありまして、今後とも我々としては、なんとかしていきたいと思っておりますので、松山市さんもよろしくをお願いします。

【市長】 もちろんです。

【男性】 湊町3丁目、4丁目の民生委員もやっています。私が担当している湊町3丁目、4丁目だけで、80歳以上の方が約70名いて、民生委員が高齢化しています。マンションは別です。いわゆる普通の家に住んでいる方です。マンションを含めると、もう少し多くなるのかなと思うんですが、やはり超高齢化の中で色んな地区から人がおいでるんですが、独居老人という方は、そうはいないんですけども、なかなかよそ向いて歩けないよとか相談はされます。どうしてもまちなかで住んでいる人がおいでるので、我々としては誰か見守り隊がいればいいなど。見守り隊の人自体がすでに高齢者ということなので、福祉のほうでも松山市で見守りでも何かしてもらったらなというのがあるので、お願いしたいと思っております。

【市長】 アーケードのサポートについて、お願いします。

【都市デザイン課長】 アーケードにつきましては、おそらく商店街で全国的に問題があって、もうすでに老朽化して全国的には例えばやむなく撤去したという事例もあります。現在、L字地区の開発を進める中でアンケ

ートを取りますと、やはり銀天街の特徴としてアーケードがあることが、メリットといますか、特徴としていいように捉えられているのは間違いないと思います。ですので、維持していくということが今のニーズに合っていると思います。支援メニューが国土交通省や経済産業省にあると聞いています。現に、大街道では部分的な改修をやっているということもありますので、今後再開発やまち更新も含めてそれとセットで考えていくことが必要だと思っています。

【地域経済課長】 アーケードは、やはり維持管理に大変な経費がかかるということで、10数年前になります、中心市街地ではありませんが少し外れたところでは撤去されたという事例もございました。国の補助としては、撤去にかかる経費はなかなか使いづらいと聞いていまして、松山市の商店街共同施設設置等補助事業というのを用意しています。それを使って撤去してアーケードに日差しが入るような商店街にチェンジされたという事例もございました。今、都市デザイン課長も申しあげましたように、銀天街はそういった意味ではすごく魅力ある商店街だと認識していますので、今後改修等でも国の支援、市の共同施設設置等の補助事業もあわせて使えるようになっていきますので、その際にはご相談いただければと思います。

【都市・交通計画課長】 アーケードは占用物件ということで、商店街が活性化しているところは十分それでやっていけますが、なかなか今それを維持できる商店街は少なくなっています。皆さんご存知とは思いますが、三津の商店街やロープウェー街の商店街にもアーケードがありましたけれども、地元の方々の総意で撤去しました。花園通りのアーケードも、先日地元のほうで撤去していただきました。あと、柳井町ですね。大体、市から支援策としてある程度地元にお金を出して、撤去するしないはまちづくりの判断なので、地元で判断していただけたらと思いますが、そういう制度はあります。1つだけ、道後商店街だけ、10年ぐらい前に上だけ新しくしたのですが、そういう商店街もありますので、今後のまちの使い方とか考えて、色んな支援策はありますので、またご相談いただけたらと思います。

【市民部長】 民生委員の高齢化の件でございますが、保健福祉部の担当から後日詳細をお答えさせていただきます。高齢化に関しましては、民生委員に限ったことではなく、地域の中で主体となって色んな活動をしていく方が高齢化して弱体化しているということが、各地区ございます。そのような中で、市民部では、地域におけるまちづくりで、自治組織を各地区につくっていただいて、その中で若い方々の育成などを進めています。こ

これは、答えが出ているわけではなくてこれから話し合っていくところですが、後継者づくりは色んなところで問題になってきていまして、地域におけるまちづくりの中でも協議を進めていますので、何らか民生委員にも、その答えがフィードバックできたらいいかなと思っています。

【男性】 まつちかタウンです。よろしくお願ひします。1つは、皆様に対するお礼と、もう1つは質問です。まずお礼はですね、1年と10カ月ほど前にまつちかにきたんですが、そのときの入店率が80%ぐらいだったのが、この3月で100%になりました。皆様のご協力のおかげだと思っています。心より厚くお礼申し上げます。先ほど、アーケードの話が出ましたが、花園町の東側を撤去されて、きれいになっているのですが、先ほど市長さんが言われましたように銀天街、大街道は全天候型ということで、将来的に東側はアーケードの設置の予定はないのでしょうか。

【都市・交通計画課長】 あのアーケードができて40数年経っていましたが、西側は今大体20年経っています。地元の方と協議しまして、維持管理などを含めると、地元で維持するのは占用料も含めて難しいということで、オーニングテントという張り出しの折り畳み式のテントを、メーター数は忘れましたが、ロープウェー通りだったら2メートルぐらい出ていると思いますが、それを全店舗統一でつけて、雨の日は2メートルぐらいの間を歩いてもらったということで、それに向けて進んでいる状況です。

【市長】 景観整備をしていくんですね。

【都市デザイン課長】 オーニングテントという話が出ましたが、あわせて花園町東通りではファサード整備といたしまして、ロープウェー街で建物の壁面をきれいに、例えば壁面を高質化するであるとかオーニングテントをつけるなどされていますが、そういった意味で道路整備とともに地元の方々のまちづくりの機運が盛り上がり、地元の方々が事業を起こされたので、松山市からも補助支援をさせていただきましたけれども、ファサード整備事業いわゆる建物の外装整備にあわせて近々着手すると聞いています。

【市長】 私からのお願いですが、どうぞ市役所と上手に付き合ってください。私は一市民出身で、タウンミーティングをはじめようと思ったきっかけのひとつでもあります。市役所で待っているほうが楽です。皆さんがお越しになるのを待っていたほうが楽です。でも、果たしてそれでいいのでしょうか。我々のほうから出向いて行って、皆さんと意見交換させてもらいましょうよ、聞かせてもらいましょうよということで始めさせてい

いただきました。今、市役所の中でよく言っているのが、市役所という3つの文字は市民の皆さんの役に立つところで市役所でないといけないと。我々が距離の近さを手放してしまったら、我々の存在意義はないんです。用があって県庁に行く人は少ないと思います。国の役所に行く人も少ないと思います。でも、市役所に戸籍や住民票を取りにお越しになる方は多いですね。我々が距離の近さを手放してしまったら意味がないんです。ぜひとも皆さんと寄り添っていきたいと思います。「こういうことできんかな。」って言われたら、「こういうことができますよ。」というのをご紹介することもできますし、「いや、こういうやり方はできないんですけど、こういうやり方ならできるんですよ。」とか、そういう取り組みのご紹介もできますし、市役所といいお付き合いをしてもらうのがいろいろと前に向かって進めていくのにいいのかなあと思っています。やはり対立構造になったらいけないと思いますね。オール松山でやっていかないと都市間競争に負けてしまうと思っていますので、みんなで想いをひとつにして進めていくことが大事じゃないかなと思っています。そして、アーバンデザインセンターは、全国にそれほどないですよ。何カ所ぐらいありますか。

【都市デザイン課長】 全国でいうと少し増えています、7カ所か8カ所あります。現地現場を大切にするとところを注視して、まずまちなかに設置させていただきました。そこでは、専門家の先生が常駐して、まちづくりの相談にのったり、実際に現場に出られてアドバイスをしたりしていただいているような状況です。その中には、若者が主体となったアーバンデザインスクールがあって、スクールの方がいらっしゃいますが、実際にまちづくりを市民の皆さんと一緒に考えて実践するというようなプログラムを先生方中心に開いていただいているという状況でございます。

【市長】 アーバンデザインスクールもやります。まちづくりの担い手も育成していきます。皆さんと一緒にまちづくりを考えていきます。それと、空き店舗を役立つものに変えましょうよというので、大街道3丁目ではお菓子屋さんをリニューアルされて「HOJAKEN(ほじゃけん)大街道」という休憩できる場所、トイレ休憩の場所をつくられました。あそこには、500万円補助させていただきました。そして、銀天街のほうには「きらりん」ができて、年間300万円補助させていただいています。ですので、アーバンデザインセンターもするし、アーバンデザインスクールもします。空き店舗のことでいうと、商店街の方なのでご存知の方はたくさんいらっしゃると思いますが、人間が歩ける距離、しんどさをあまり感じずに歩ける距離というのは300メートルぐらいなんだそうです。伊予鉄さんの路面電車がありますが、大体基本的に路面電車の停留所というのは

約300メートルごとにあります。うまくできています。先ほど私の2050ビジョンで紹介させていただいたように大街道と銀天街を合わせると1キロちょっとです。L字地区で特に思うのは、大街道のアエル松山さん、松山三越さんという核といよてつ高島屋さんという核と大事な大街道、銀天街、まつちか、花園町、市駅ですが、その核の中間どころができる歩いていただけるということです。「HOJAKEN（ほじゃけん）」であったり「きらりん」であったり、中間どころをつくっていくのは大事なことだと思って支援をさせていただいています。できる限り中心商店街を大事にするんだ、これが松山のいい方向なんだという思いで皆さんとともに進んでいきたいなと思っています。

【男性】 大きく2つありますが、先ほどお示しになられた総括としての計画、ビジョンに関して1つ。もう1つは、具体的なところをご提案も含めてお伺いしたいなと思っています。大きなところは、話しだすと時間が長くなってしまいますので後にします。具体的なところで、中心市街地ということと、この場所ということですが、ポイントは2つあります。1つは、人・金の流動性の向上という課題に対し、さまざまな施策、効果的な施策を打ち出していかなければいけないと思います。もう1つは、過去・現在・未来と1本筋の通った継続した施策をぜひぶれないでやっていただきたいということでお話をさせていただきます。まず、最初の人・金の流動性の向上についての、施策の話ですけれども、これも大きく2つありまして、1つは、効率的な商業発展を促すべきということと、もう1つは、点や線ではなく面での回遊性の向上をぜひやりたいということです。効率的な商業発展ということですが、四国四県の中の中心市街地、県庁所在地の中でも、松山市の小売吸引力が一番減少率が高くて、非常に効率の悪いところになってしまいました。東京は松山から東京に出るよりも、東京から出る方が少ない。つまり、ご存知のとおり、東京と松山は高齢化率も含めて、パーセンテージは似ているんです。それは、第3次産業が90%あるということも含めて要は都市構造だと思いますが、当然地方の方が弱いのですから、松山はその効率化の中にあっても、非常にパイも含めて下がってきているんですね。こういうことがあるので、もう1回効率性が上がるような施策を抜本的な対策から行うべきだというのが1つです。ここは、具体策があるというわけではないんですけれども、これを策定すべきだというのがあります。もう1つの点や線ではなく面での回遊性のことですが、ここは具体的に言わせてください。湊町や中央商店街だけでなく、地元商業や観光を連動させた各地域との連携による経済発展を持続させ

るための施策を行わなければいけないということで、銀天街側としても今さまざまなことをやろうとしていますしやっています。その中で、ぜひともこれからやっていかなければならない、やりたいなと思っていることがありまして、いくつか挙げさせていただきます。例えば、カーシェアリングといった施策。これは、愛知県の安城寺市で行われているもので、商店街やまちづくり会社で検討していきたいなと思っています。あとは、レンタサイクル。これは、金沢市ではすでに行われていまして、何度か視察に行かせていただきましたけれども、非常に効果的なことをされています。先ほども出ました、駐車場、駐輪場。このハブとなるところの整備です。これは、L字地区の開発を進めていく中で、こういうところができたらと思っていますのですが、FRINGE型の駐車場というのも1つです。もう1つ、少し大きな話ですが、地域ポイントの発行を考えて、行政・商業・交通を連携させた広域連携の施策を打ち出して、お金の流動性と観光客のリピーター率を向上させ、地元商業の活性化を図っていくべきと。これが、効率的な商業発展を促すことにもつながると思うので、ぜひすべきだと思います。この地域ポイントは、細かい話をしますとすごく時間がかかりますので、今日はかいつまんで具体的にこのポイントを挙げさせていただきました。ここが先ほど申し上げました効果的な施策を打ち出すというところでございます。もう1つのポイント、過去・現在・未来と筋の通ったというところですけども、ここに関しては、いわゆるお城下地区であり、湊町はまさにブラタモリでも紹介されましたし、非常に古い地区であって、戦争で1回焼けてもう1回つくり直したところでございます。つまり、L字地区を挟んだこの四角地区、市役所も含んだこの四角地区は、俯瞰図（ふかんず）で施設、設備の年代を見ても30年以上経っているものが非常に多いと。やはり過去を見て次に未来を見ないといけない、今まさにそのときにきているということです。この辺りの施設、設備の更新、開発をしなければならないということが、まずは意見の1つです。湊町の商店街、東西を含む一帯地区ですね。裏通りも含めて、色んな文化的な意義、歴史的な発掘もしながらやっていく価値があるのではないかとこのことをここで提言させていただきます。当然、L字地区開発は、このまま進めていっていただきたいところではありますが、L字地区だけではないと思います。銀天街地区としましては、市駅ロータリー側の交通が不便なため、新たな発想をもって、この地区を更新する必要があると、実は我々銀天街の理事会でも考えています。先ほど、花園をやって、市駅ロータリー側というふうにおっしゃっていただきましたので、市駅側の交通を未来に対して見直していただけるということで、ちょっと安心しました。それに際して、

ロータリー側とL字地区側で挟まれたところの商店街ももう1つあるわけで、ここの部分もどういうふうなデザインをしていくべきか、どういうふうな施設更新をしていくかということをもさに考えています。ですから、ここの部分を一体化していただく、もしくは進めていただきたく思っています。組合、理事会等も非常に前向きに一緒にやっていきたいという姿勢がありますので、ぜひこの場で提案させていただきたいです。当然、L字地区だけではなく全部を考えないといけません、L字地区も大事なのでそれをお願いします。一番大事なのは、この地域が松山市民の方からどういうふうにみられているかだと最近気づきました。ですから、先ほど市長が2050年をこういうふうと考えられていらっしゃる。だから、まちはこういうふうになっていく。これも大事だと思いますし、実際地元にいる人たちの考えを取り入れてやったのか、それを聞いたらどうなのか、はたまた観光でいらっしゃった方はどうなのか、通勤でいらっしゃった方はどうなのかということも考えていただきたくというのが、実は先ほど、後にまわしますといったところ。一応、ここの部分での最後ですが、他都市にみられるような行政サービス機関、図書館等も含めてですが、現在も「銀天街GET!」の中にあったりしますが、行政サービス機関や設備をまちなかにつくることもご検討いただければ、例えば、将来、あのようなウォーキングのマップのような図を描くのであれば、その中継地や文化的な要素が生まれるような中継地ができるのではないかという意味で、これも必要な大事なことだと思います。戦後70年と言いますが、この数十年で日本、松山は急速に発展してきています。ただ、今までと同じようなことが起こるとは、皆さんおそらく思われていないと思いますし、私もそう思いません。10年後、20年後は、これまでの経験で話していくと大変なことになると私は思っています。ですから、改めて前を向いた新しい施策をお願いしたい次第でございます。

【市長】 私からお答えできるところはお答えしますので、後で補足してください。レンタサイクルのことでいうと、私の2期目の公約で、「交通で幸せ実感」を8本柱の1つと掲げていまして、その1つの方策がレンタサイクルだと考えています。考えているという、俗な言い方になってしまいましたが、まさに検討中です。行政内部でしっかりと検討しているところです。岡山市さんの「ももちゃり」ですとか、北陸の事例などもよくよく知っています。松山市のレンタサイクルは、観光のレンタサイクルですが、それも1つのやり方です。今まで、放置自転車を捨ててしまうのは、あまりにももったいないじゃないかということで、放置自転車を修理して、新しくして、観光で使うというかたちをとっていました。それを「普段使

い」もできるようなかたちでというのが、コミュニティサイクルですが、そのやり方を今検討しています。あと、L字地区にハブの駐車機能ということですが、L字地区はそれこそ、旧の33号、立花方面につながっていきます。中心市街地の南の玄関口ですので、例えば、まさにL字地区の場所というのではなくて、あの付近と考えていただいたらと思うんですが、商業地や居住地、大規模な駐車場を設けることができれば、ますますあの辺りの魅力は上がるんだろうな。南の玄関口というのが、大きなところかなと思っています。あとは、課長さんからお願いします。

【都市・交通計画課長】 まず、面的な回遊動線については、例えば、歩行者の回遊動線をみたときに、道後温泉エリアをみてもらったと思います。道後温泉とロープウェー通りは同時期に整備をしました。道後温泉は駅から商店街を歩いて道後温泉本館に行きます。逆側も歩道を広げましたので、ダブルプロムナードでどちらでも回遊できる、小さな面的整備をもって、そこから旅館街にも行けるという動線です。あれをみたときにやはりロープウェー通り1本だけではなく、順番に面的にやっていかなければならないと感じたところがありました。まちなかも、大街道、銀天街、市駅を中心として、回遊できる歩行者空間の整備を合意ができたところからやっていきたいと思っています。カーシェアリング、レンタサイクル、フリンジ型駐車場は交通工学でいうとセットです。要するに、フリンジ型駐車場がまちの入口まで来ました。そこから、歩くのはちょっと遠いけれども、レンタサイクルで行ける場所。過度に車に頼らない、健康にもいい。中を回遊してもらおうと。そういうことによって、選択肢が増え、買い物の時間や回数は変わってくると思っています。前回調査で、車で来られた方は、回っているのは大体1店舗、平均すると、1.2店舗ぐらいなんですね。ところが、公共交通で来られた方は、大体1.8から2店舗回られているというデータがありまして、当然、入込客のためには車も必要ですが、過度に車に頼らないシステムをつくることができればなど。大きな買い物をしてどうしても車に乗せて帰らないといけないということになったらカーシェアリングの車で持って帰るとか、宅配にするとかありますけれども、それは交通工学では全部セットで考えないといけないかなと思います。

【市長】 フリンジ型って何ですか。皆さんにわかりやすいように。

【都市・交通計画課長】 フリンジ型駐車場というのは、まちの中心部があったら、まちなかに車を入れないために、入口、入口、入口に大きな駐車場をつくって、基本的には、中は歩行者、自転車。さらにいうと、ヨーロッパでは、その中で、まちの中を無料で行ける路面電車が通っていて、

トランジットモールになっているものがあります。今は、100円パーキングが多く、車がまちなかに入ってきて、店の近くのパーキングにとめて、1店舗回って帰るわけです。だから、将来の都市像として、歩いて暮らせて、車で来る人もちょっと外に停めてもらって買い回ってもらうというのを目指したほうが、活性化にはつながるのではないかなと。車社会なので、急激には難しいですが、未来に向けてそういう目指すべき姿をぶれないようにするかどうかだと思っています。

【都市デザイン課長】 我々も、今、中心市街地で皆さんとまちづくりを進めていく中で、まちづくりを考える段階から、プロの方に入ってくださいことは効果があると感じています。そういった意味で、初動期の支援を都市デザイン課でやっていることもありますので、市駅前もそうですし、銀天街もそうですし、L字地区もそうですけれども、初動期支援という支援事業がありますので、ぜひご相談を願えたらと思います。

【地域経済課長】 昨年、私どもが、来街者の方を対象に実施したアンケートの回答の中で、少し課題として捉えていただきたいなということがあります。日用品とか衣料品とかですね、通常の衣料品という意味だと思います。あとは飲食、特に飲食に関しては、中央商店街で非常に満足していると。それに対して、今日はちょっと決めるぞというような、勝負服みたいなおしゃれ着、特段のおしゃれ着ですね。それから、家具や雑貨。こういうものに対して、少し満足度が低いというデータが出ています。価格帯についても、同様にもう少し高価なものを求めているというアンケート結果が出ていますので、こういう部分の課題をしっかりと捉えて、我々ができる支援を考えていきながら、まちにどうやってお金が流れてくるかなど、一緒に考えていきたいと思っています。

【市長】 地域ポイントのことをお聞かせ願いたいんですが、地域ポイントということになると、当然、参加店舗ということが出てくると思いますが、どれぐらいの段階なのか。もう銀天街の方々がまとまって地域ポイントをやろうやという話になっているのか、どんな段階ですかね。

【男性】 全店舗と言われますと、2階の店舗、地下の店舗、いろいろありますので難しいんですが、組合員の中での大半を占めていますのが、クレジットカードやプリペイドカード、はたまたそれにポイントがついて流動性を図れるもの、これについては、設備投資の部分が出てくるんですけども、一応、今聞いていると、経産省ですでに用意があると四国経済産業局の方もいろいろ言われていますし、各都市で事例がありますので、それを使って進めたいというのがあります。というのが、そもそも市商連というのがありまして、市の商店街連盟の中で、そういったような事例があ

ります。ただ、これをどういうふうに進めていくかというところが実は非常に課題にもなっていて、そのベースがあるからとかいう前提ではないんですけれども、今まで小出しにしてきた部分を、今日改めて、実は初めて皆さんの前でも市長の前でも言わせていただいているところがありまして、温めているところです。対象はできれば市の商店街を全部巻き込めればそれに越したことはないですし、中央商店街は方向性としては、それでまとまっているのは事実でございます。全店舗になるかどうかはここで担保はできませんが、ほぼ組合員の中では、非常に前向きであると。これは、要は施設、設備の老朽化というのも大きいんですね。つまり、行政だったり、交通だったりという他都市の例も踏まえて、ここに入れることができ、かつボランティアであるとか福祉とか教育、色んなことで、ポイントで松山市をいい方向に誘導できるものであるならば、このタイミングでやるべきではないかと思うので、ぜひ進めたいということでございます。

【男性】 L字地区ではいろいろお世話になっています。最後に、ちょっと場違いなことを言うような話ですけれども。おかげさまで商店街も優秀な人材がいろいろやってくれて助かります。私は相対的に思いますのが、まちづくり、開発も含めてそうなんです、商店街として人づくりをテーマの1つとして、個性とはまた別の次元で、人格だとか人間性の成長ということをどこかで考えることができたらいいなと思うんです。というのは、個々の商売もそうですが、商店街にしましても、市役所さんもそうでしょうが、一般的にいう「おもてなしの心」というのは、お客様を大事にするということです。どうやって商店街に来てもらうか。それは元を正せば僕は人間性によるんだと思うんですね。だから、相手を思いやる。商店街にしましては、残念なところが3つほどあるんです。1つはあいさつしない。あいさつについて、以前私が東のほうに住んでいたときに、まちの中の人同士が知らない人でも会ったらあいさつしましょう、朝におはようございます、とあいさつしましょう、というようなテーマを掲げてまちに貼って努力していたときがあったと思います。これができるのは素晴らしいことだと思うんですね。ところが、商店街ではできている人もいますが、相対的にあんまりまちの人同士もあいさつせんのですよ。それから、もう1つは時間を守らない。会議とか色んな集まりがありまして、行政の方なんかはビシッと5分か10分前には集まっておられるんです。これは大変素晴らしい。ところが、商店街では松山時間というのが昔から直らんの、時間に遅れるのがあまり悪いと思わんのです。時間を守らない。平

気で遅れる。もう1つは、個々の商店主なんかも言いたいことは言うんだけど、努力しない、参加して協力しない。全部と言ったら語弊があるんですけども、一般的な感じとして、この3つがわりと残念なところですよ。いわゆる色んな理論であるとかスキルの問題であるとか、そういうことは若い人に大いに頑張ってもらった方がいいんですが、それも含めて商店街の私たち自身が、私も含めて人間的なモラルを向上させる。これが根本にあって初めてまちづくりであるとか、あるいは再開発であるとかいったようなことも、具体的な問題に入っていけるだろうと思うんです。最後にいらんことを言うたって後でみんなから怒られるかもしれませんが、そういうことが基本の基本ということでこれからの人づくりということについて、そこに一味加えてもらえれば大変いいまちになると思います。

【市長】 ありがとうございます。最後に本当に大事なことを言っていただいたと思っています。私も含めてとおっしゃったのが素晴らしいと思います。人のことを悪く言うのではなくて私も含めてとおっしゃったのがさすが人生の先輩だなと感じ入りました。「おもてなし日本一のまち宣言」というのをさせていただきました。これは行政だけでやってはいけないので、商工会議所さん、地元の方々と一緒にやるんだ、それに意味があるんだということで、「おもてなし日本一のまち宣言」というのをさせていただきましたが、松山空港に帰ってきたときのあの看板にも出ています。おもてなしというのは松山の人にはできると思いますし、これを我々の代で絶やしてしまっただけではいけないという思いで「おもてなし日本一のまち宣言」をさせていただきました。四国八十八カ所がありますが、四国には95市町村が点在していますので、割り算すると1市町村当たり0.93カ寺になります。つまり、何が言いたいかということ、自分たちの市や町や村には札所は1カ寺もないというところが当然あるんです。一番集まっているところがどこかということ松山で8カ寺集まっています。市長、北条や中島と合併したけん札所が増えたんやろと言われるかもしれませんが、違います。旧松山に8カ寺全部あるんです。何が言いたいかということ、今お遍路さんはバスや自家用車で回ることが出来ますけど、昔から命がけで歩いて一生懸命回っているお遍路さんをいっぱい見てきたのが松山の人。その人たちにおもてなしをしてきたのが松山の人。おもてなしって何か見返りを求めているわけではない。無償の愛であるおもてなしを伝統的にやってきたのが我々。だから、松山の人には優しい心を絶対持っているはずなんですよ。市役所でも、廊下で会ったらお客さんなんだから、「こんにちは。」「おはようございます。」とあいさつしましょうよと言っているぐらいです。

都会のテレビなんか見ていたら人情商店街みたいなことを書いてるところがありますが、今おっしゃられたように自分のお店ではなくても商店街という1つのところに来られているお客さんですから、商店街の方たちのあいさつがほしいですね。何で「おもてなし日本一のまち宣言」させていただいたかという、そのときの印象で再びの来訪につながるから、経済効果もあるから「おもてなし日本一のまち宣言」をさせていただきました。ある人が、松山に出張で来て、松山の人にすごい親切にしてもらった。ちょっと迷っていたら場所も教えてくれた。すごいまちの印象がよかったから、今回は出張やけど今度は家族4人で来てみようとなったら4倍の経済効果がある。1泊2食1万円の出張やったけど、今度は家族4人で来たらそれなりの経済効果があります。でも、松山に行ったけどすごく印象が悪かったら二度と行くかということになります。二度と行くかとなったら経済効果がゼロどころかマイナスです。松山に行ったけどよくなかったんよと広がりますからね。ホスピタリティ、おもてなし、そのまちの印象をよくすると経済効果もあります。今ありがたいことに私が就任させていただいて、みんなでまちづくりをしましょうよと言うと、行政がやってくれやという話でなくて、地元の方々が大分動いてくれるようになりました。非常にありがたいことです。ですので、行政がこれだけ動いてくれとるんやけん、サポートせないかんでしょうが、というかたちで前を向いてかなり進みやすくなりました。とにかく我々の想いは一緒だと思います。この中心商店街を元気にしていきたいという想いは皆さん一緒だと思います。我々も一緒。松山市役所にとって中心商店街は大事なんだから。これからのコンパクトシティを考えたら絶対大事。想いは一緒だと思うんです。これから色んなハードルがあると思いますけど、想いをひとつにしてともに進めていけたらと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。これまでそんなに深くお話したことはなかったですけど、本当に人生の先輩としていいことを教えていただいたと思います。ありがとうございました。今日、いろいろ述べさせていただきましたけれども、今日は手を挙げては言いづらくて言えんかったんやけど、という方もいらっしゃると思いますので、このあとご紹介するメール制度ですとか、ハガキや郵便、何でも結構ですので、また市役所にご意見をいただけたらと思います。今日は本当にありがとうございました。